

「創生総合戦略」を県内でもいち早く策定し、人口減少時代における居住空間としての魅力創出や地域資源を活かした産業の成長化政策などに重点を置き、平成27年度からの5年間、集中して取組んでいくこととしております。

こうしたことから、地域資源を活かした産業の成長化のため、特に水産業と観光業に特化した政策と居住空間としての魅力創出のために交流人口を通じた空き家の活用策、若者の定住化対策、そして、結婚・出産・子育て対策を最優先として取組み、「小さくともキラリと光る村」の実現を目指していきます。

平成28年度においては、未婚化・晩婚化対策として、将来結婚し、子どもを持ちたいと考えている独身男女が自然な形で結婚支援策が展開される環境づくりとして3回の「出会いの場の創出（婚活事業）」や本村の基幹産業である水産業を将来にわたって揺るぎない産業として成長させるため、漁業の担い手の一部を外部人材に求め、育てるための「漁師縁組事業」の実施、佐井村の魚の販路拡大のための「活〆神経抜き鮮魚取引事業」などの事業を展開し、これを足掛かりとして佐井村地域創生総合戦略で示す45の政策パッケージを強力に進めて行く考えであります。

また、昨年10月7日静岡県松崎町「環境改善センター」でNPO法人「日本で最も美しい村」連合の臨時総会において、佐井村の新規加盟が承認されました。この連合は、単に美しい村を目指すということだけでなく、地域にある資源を活用し持続可能な地域経営を目指すことを目的とした組織であります。この加盟を契機として、美しい村、きれいな村を目指していくことはもちろん、地域にある未利用資源を活かした仕事づくりなどを進め、佐井村むらづくり基本条例の基本理念に基づき、住民、議会及び村が協働し、本条例で掲げる6つの基本目標に向かって、ともに手を携えて取組んでいきたいと考えております。特に、各種団体におかれましては、地域のけん引役として事業の推進にご理解ご協力いただきますようお願ひいたします。

今年の干支の「酉」の本来の読みは「ゆう」であり、口の細い酒つぼを描いたもので、「酒」に関する字に用いられ、収穫した作物から酒を抽出する意味や収穫できる状況であることから「実る」を現すという由来があり、果実が成熟した状態を表していると言われております。

我が村にとつても皆さまにとつても、実り多い素晴らしい年であるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。